

# 第1章

---

## 健康福祉部の主な取組



1 当初予算案の概要

令和2年度当初予算は約1,282億円 前年度当初予算比 32億円、2.6%増

一般会計

＜増要因＞社会保障関係費の増 29億円  
 (後期高齢者医療財政安定化基金交付金、教育・保育給付費負担金、  
 地域医療介護総合確保基金関連経費(医療分)等)

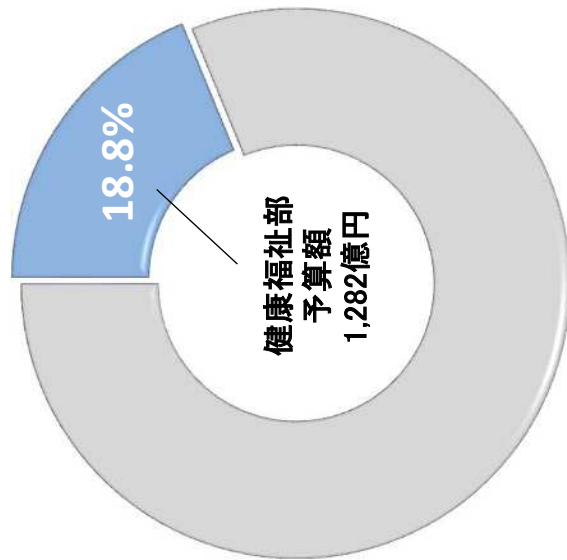
特別会計

療育福祉・医療療育センター特別会計 令和2年度当初予算 約20.2億円  
 国民健康保険特別会計 " " 約1,276.5億円  
 母子父子寡婦福祉資金特別会計 " " 約4.9億円

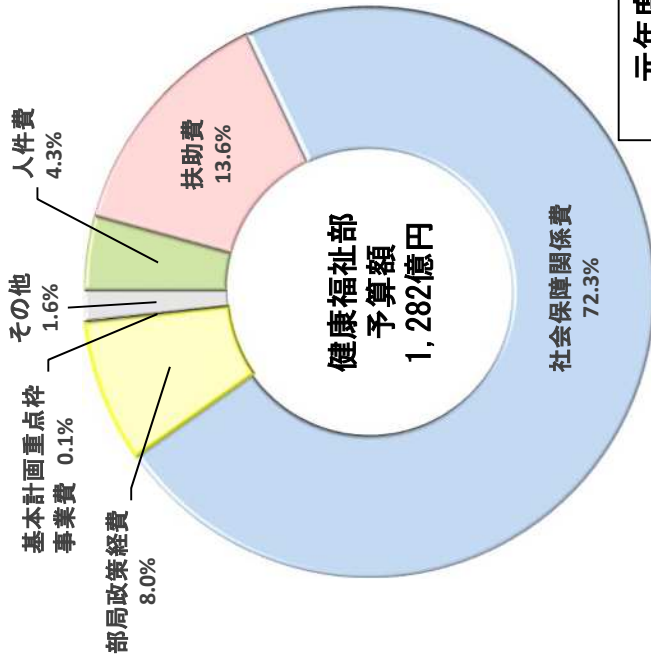
(単位:千円)

区分	令和元年度 当初予算	令和2年度 当初予算	増減額	伸び率
一般会計	124,956,662	128,170,275	3,213,613	2.6%
特別会計	129,315,550	130,169,999	854,449	0.7%
療育福祉・医療療育セ ンター特別会計	1,940,239	2,024,222	83,983	4.3%
国民健康保険特別会計	127,055,023	127,651,593	596,570	0.5%
母子父子寡婦福祉資金 特別会計	320,288	494,184	173,896	54.3%

県予算額に占める割合  
(一般会計)



経費区分別内訳



元年度当初比  
32億円、2.6%増

<課別予算額(一般会計)>

課名	令和元年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	対前年度比較	
			増減額	当初予算比
健康福祉政策課	13,066,714	13,219,837	153,123	101.17%
がん・生活習慣病対策課	646,962	565,437	△81,525	87.40%
医療薬務課	7,487,098	11,041,898	3,554,800	147.48%
保健衛生課	4,590,677	4,712,348	121,671	102.65%
高齢福祉保険課	59,734,699	57,603,305	△2,131,394	96.43%
こどもみらい課	22,312,073	24,008,809	1,696,736	107.60%
障害福祉課	17,118,439	17,018,641	△99,798	99.42%
<b>健康福祉部予算額</b>	<b>124,956,662</b>	<b>128,170,275</b>	<b>3,213,613</b>	<b>102.57%</b>
県予算額に占める割合	18.8%	18.8%	—	—

<経費区分別予算額>

経費区分	令和元年度 当初予算額	令和2年度 当初予算額	対前年度比較	
			増減額	当初予算比
人件費	5,509,640	5,500,518	△9,122	99.8%
扶助費	17,701,491	17,449,535	△251,956	98.6%
社会保障関係費	89,779,871	92,727,978	2,948,107	103.3%
部局政策経費	9,641,394	10,224,801	583,407	106.1%
基本計画重点枠事業費	177,940	153,756	△24,184	86.4%
その他	2,146,326	2,113,687	△32,639	98.5%
計	124,956,662	128,170,275	3,213,613	102.6%

2 令和2年度における健康福祉部の事業展開



※①～⑨(白抜き数字):「選ばれる青森」への挑戦重点事業(新規分)

# 健康福祉部 令和2年度「選ばれる青森」への挑戦重点枠事業

●新規 10事業 96,781千円 ○継続 9事業 53,590千円 計 19事業 150,371千円

## 健康ライフ実現プロジェクト

### ＜（今後重視していく取組の方向性）県民の健康づくり＞

- ①働き盛り世代のがん検診推進事業 (6,906千円)
- ②健診で健活！AIを活用した特定健康診査受診勧奨事業 (16,632千円)
- ③上手な医療のかかり方推進事業 (13,833千円)

- ①県民の未来と健康をマモル！タバコ対策事業 (5,578千円)
- ②女性発信！農業者・漁業者の健やか力向上事業 (4,992千円)
- ③糖尿病と歯周病を切り口とした医科・歯科連携事業 (4,432千円)
- ④あおもり型健康経営プロモーション事業 (5,683千円)

「食」と「運動」  
で健康

⑤無理のない減塩推進ムーブメント創出事業 (3,144千円)

こころの  
健康

⑥生きることの包括的支援・自殺対策事業 (7,475千円)

## 未来へつなぐ「地域のゆりかご」プロジェクト

### ＜「青森県型地域共生社会」の実現＞

- ④「支え合い、共に生きる」地域の実現に向けた保健・医療・福祉推進事業 (6,448千円)
- ⑤地域でつながる「つどいの場」拡充支援事業 (8,951千円)
- ⑥地域とつながる子どもの居場所づくり促進事業 (5,376千円)
- ⑦医療的ケア児総合支援事業 (9,814千円)

保健・医  
療・福祉  
体制の  
充実

⑦認知症地域支援体制構築推進事業 (4,005千円)

環境  
づくり

- ⑧結婚応援プロジェクト事業 (9,948千円)
- ⑧「みんなで子ども・子育てを応援！」推進事業 (13,031千円)

若者定着

⑨新しい薬剤師の人財創出事業 (5,250千円)

## 多様なしごと創出プロジェクト

多様な労働  
力の確保

⑨保育人材確保事業 (8,707千円)

生産性向上・  
働き方改革

⑩HACCP推進コア人財育成事業 (10,166千円)

# 平均寿命・健康寿命の延伸

## 第三期青森県がん対策推進計画

がん患者を含めた県民が、がんを知り、がんの克服を目指す社会

科学的根拠に基づく  
がん予防・がん検診の充実

患者本位の  
がん医療の実現

尊敬を持って安心して  
暮らせる社会の構築

これらを支える基盤の整備



健やかか力向上推進キャラクター  
「マモルさん」

がん年齢調整  
死亡率  
**全国ワースト1位**  
(H30)

### ① 働き盛り世代のがん検診推進事業

【新規】(6,906千円)

⇒ がん死亡率の減少に向けた環境整備を図るため、職域におけるがん検診の実態調査等を実施するとともに、女性向けのワークセッション等を開催

### ⑩ 大腸がん検診未受診者対策事業

【新規】(11,580千円)

⇒ 大腸がん検診受診率の向上を図るため、未受診者に対する啓発を行うとともに、市町村が実施するがん検診に対する支援等を行う

① 県民の未来と健康をマモル!  
タバコ対策事業 (5,578千円)

## 働き盛り世代への取組

### ⑪ 一歩前進！大人の運動習慣改善 ムーブメント事業【新規】(6,468千円)

⇒ 働き盛り世代の運動習慣の定着を図るため、日常生活動作等の運動量把握、ウォークコンテントを実施するとともに、健康増進キャンペーンとしてダンスイベントやウォーキングイベントでのPR等を行う

市内ペンチャー

② 女性発信！農業者・漁業者の健やか力向上事業  
(4,992千円)

③ あおもり型健康経営プロモーション事業  
(5,683千円)

## ヘルスリテラシーの向上

④ 無理のない減塩推進ムーブメント創出事業  
(3,144千円)

生活習慣病の発症予防・重症化予防

### ⑫ 健診で健活！AIを活用した特定健康診査 受診勧奨事業【新規】(16,632千円)

⇒ 市町村における糖尿病の重症化予防の取組みを推進するため、AIを活用した受診勧奨モデル事業を行う

⑤ 糖尿病と歯周病を切り口とした  
医科・歯科連携事業 (4,432千円)

平均寿命

**全国ワースト1位**(H27)

男性: 78.67歳

女性: 85.93歳

男性の伸び幅1.39歳  
(全国3位)

着実に延伸

糖尿病による  
死亡率

**全国ワースト1位**  
(H30)

早世の減少と健康寿命の延伸

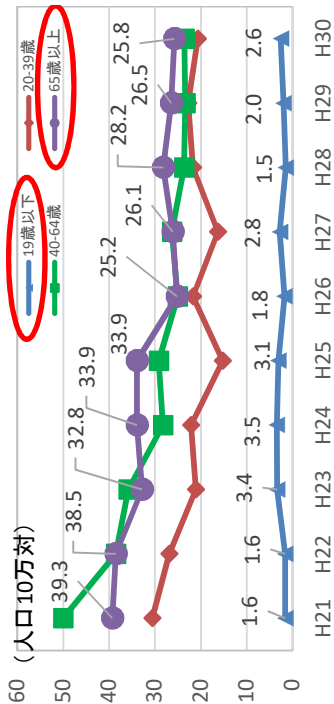
全国との健康格差の縮小

## 青森県健康増進計画 健康あおもり21 (第2次)



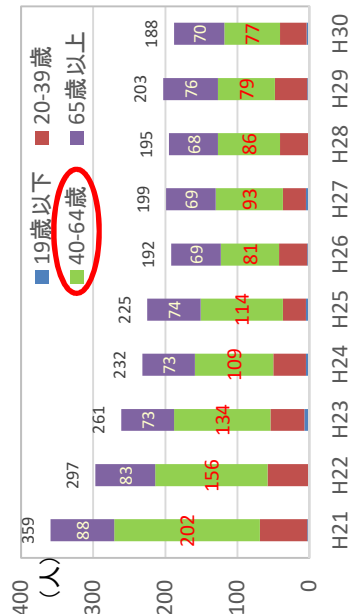
# 自殺対策の推進

年代別自殺死亡率の推移(男女)



資料：青森県障害福祉課(人口動態統計から集計)

自殺者数の推移(男性)



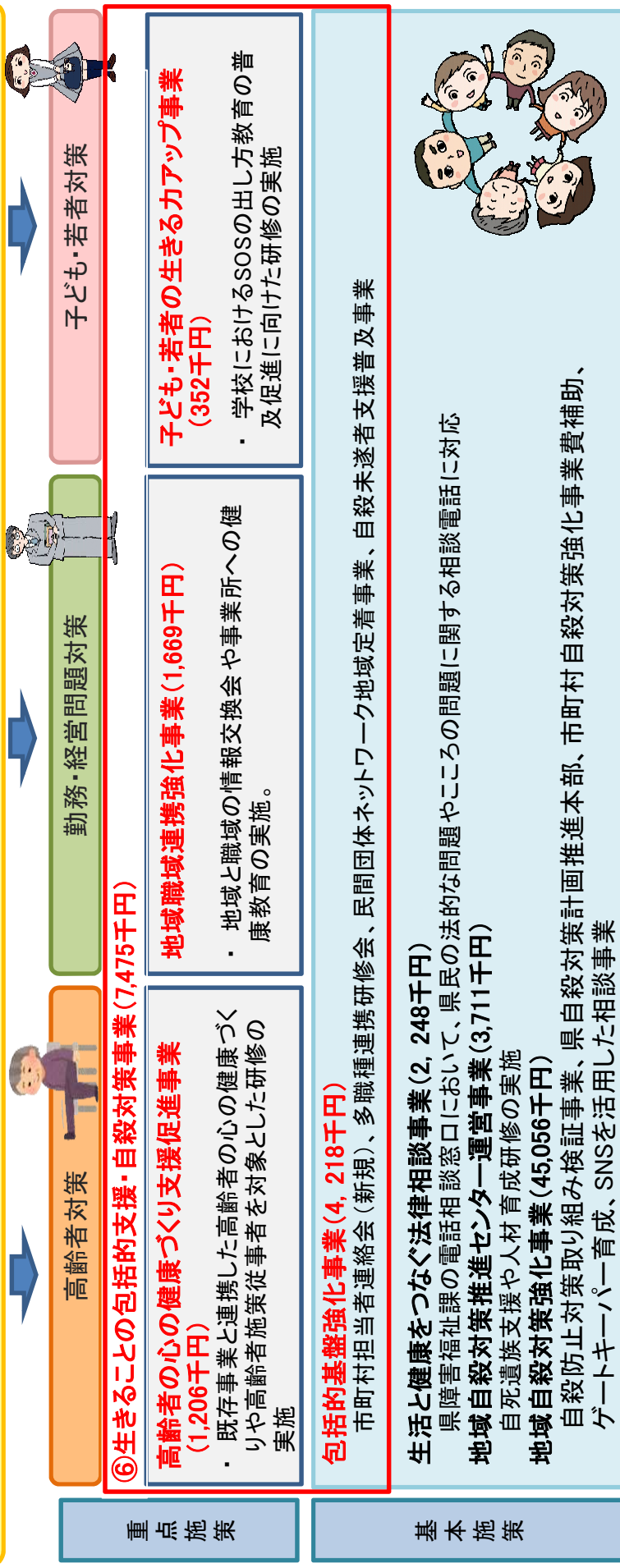
資料：人口動態統計(厚生労働省)

年齢階級別死因順位(平成25年～28年)

年齢階級	第1位	第2位	第3位
15～19歳	自殺	不慮の事故	悪性新生物
20～24歳	自殺	不慮の事故	悪性新生物
25～29歳	自殺	悪性新生物	不慮の事故
30～34歳	自殺	悪性新生物	不慮の事故
35～39歳	悪性新生物	自殺	不慮の事故

資料：人口動態統計(厚生労働省 H25～H29)

本県の自殺対策計画「いのち支える青森県自殺対策計画」では、**高齢者対策、勤務・経営問題対策、子ども・若者対策**を重点施策とし、自殺者数の実な減少を目標としている。このため、それぞれの特性に応じた取組が県及び市町村で推進されるよう、包括的な支援も含めた事業を実施する。





# 地域医療提供体制の充実強化

## 背景と課題

### 背景

- 人口減少
- 高齢化の進展
- 医療への期待の高まり
- 厳しい自然・地理条件

### 【目的】

将来のあるべき  
医療提供体制の実現  
～地域医療構想の推進～

### 今後の方向性

- 医師不足や医師の地域偏在、診療科偏在の解消
- 看護師、薬剤師等の県内就業の促進
- 多様化する医療ニーズに応える医療提供体制の構築

## I 病床の機能分化・連携の推進

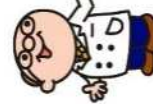
- (1) 病床の機能分化・連携
- (2) 在宅医療等の充実
- (3) 休床中の病床への対応



⑬ **病床数適正化推進事業費補助【新規】** (120,000千円)  
稼働病床数を一定程度削減する医療機関に対し、病床数の見直し(規模縮小)による収入の激変を緩和するための支援

⑭ **病床機能分化・連携推進施設設備整備費補助** (676,482千円)  
地域医療構想の実現に向けた医療機関等の施設・設備整備に対する支援

- ・急性期等から回復期への病床転換
- ・病床の用途変更、解体
- ・在宅医療のための設備整備



## II 効率的かつ質の高い地域医療サービスの確保

- (1) 医療機能の充実・高度化
- (2) 医療従事者の確保・養成
- (3) 在宅医療・介護連携の促進

⑮ **上手な医療のかかり方推進事業【新規】** (13,833千円)  
県民が安心して医療を受けられるよう、医療を取り巻く環境の変化や制度に関する理解を深め、上手な医療のかかり方を実践する機運を醸成する取組みを実施

⑯ **新人看護職員離職防止及び定着促進事業【新規】** (885千円)  
新人看護職員の離職要因を詳細に把握し、県内就業率の上昇や安心して勤務を続けることができる環境整備に向けた取組みを実施

⑰ **新しい薬剤師の人財創出事業** (5,250千円)  
薬学進学者数及び県内就職者数の増加、県外薬剤師へのアプローチに向けた取組みを実施

### 両輪

### 施策を円滑に進めるための取組み

自治体病院等の機能再編成の推進

地域医療介護総合確保基金の活用

○ **津軽圏域新中核病院整備推進事業【新規】** (1,500,000千円)

### 命と暮らしを守るための取組み

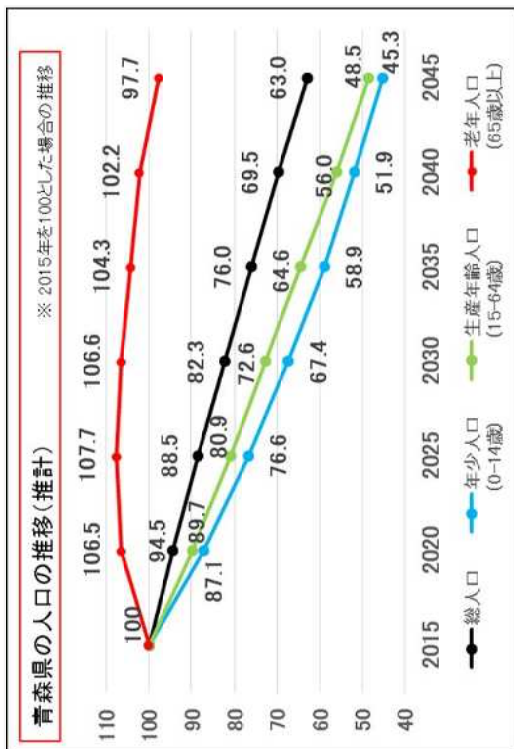
○ **骨髄ドナー助成事業費補助** (980千円)

骨髄等ドナー登録者及び移植件数の増加のため、骨髄等ドナー助成制度を導入している市町村に対し、引き続き助成に要する経費を支援

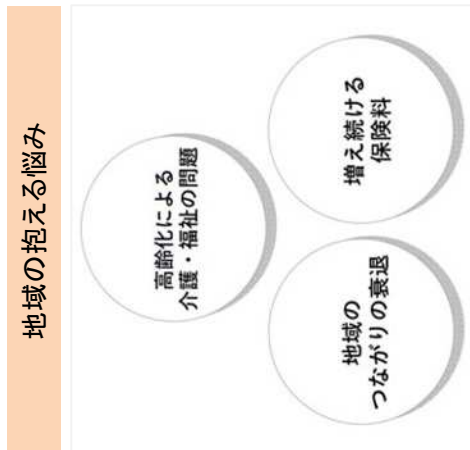
⑱ **上手な医療のかかり方推進事業【新規】** (再掲) (13,833千円)

## 施策と具体的な取組

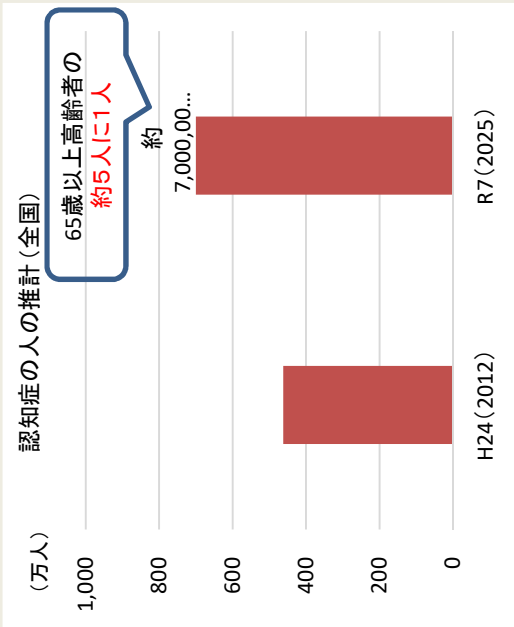
# 高齢者支援体制の拡充



資料：国立社会保障・人口問題研究所  
「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」



資料 厚生労働省「これからの地域づくり戦略」

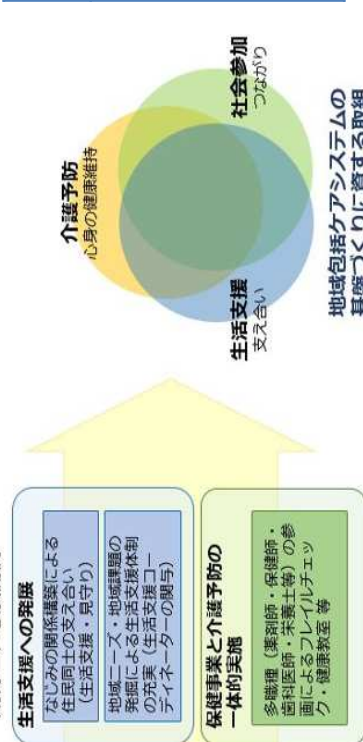


資料 認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)から作成

高齢者一人ひとりが、生きがいを持ち、生きがいが必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、生活支援・介護予防の基盤整備や認知症対策を推進します。

## (1) 地域の支え合いにつながる「つどいの場」の拡充

期待される展開例



あおもり高齢者すこやか自立プラン2018の目標項目 高齢者見守りネットワーク等の構築状況 (R1.10月時点)

目標項目	現状値【R1.10月】	目標値【R2年度末】
高齢者見守りネットワーク等の構築	32市町村	全市町村
認知症情報連携ツールの活用	15市町村	全市町村



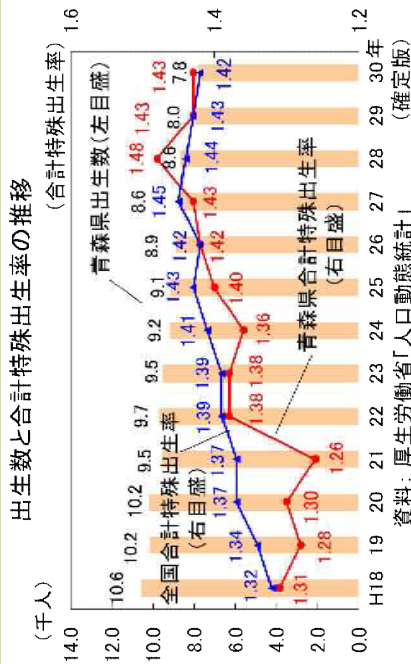
④ 地域でつながる「つどいの場」拡充支援事業 (8,951千円)  
地域包括ケアで目指す「介護予防・生活支援・社会参加」につながる取組として、住民主体の「つどいの場」の機能強化に向けた関係専門職のネットワーク構築支援会議を開催するほか、「つどいの場」拡充に向けた地域住民への働きかけ等を進めます。

## (2) 認知症対策の推進

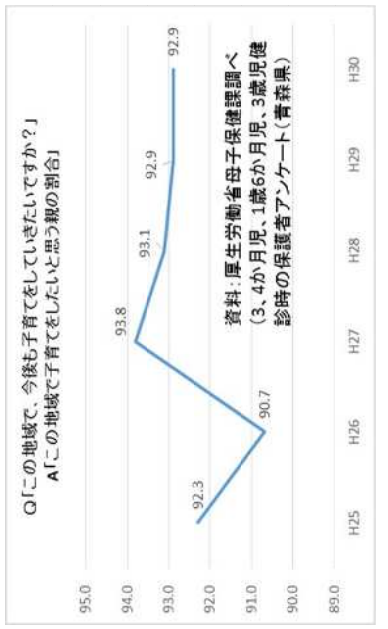
⑦ 認知症地域支援体制構築推進事業【継続】 (4,005千円)  
認知症の人を地域で支える体制の構築を推進するため、見守りに係る手引きを活用した研修会の開催を行うほか、医療・介護等関係者が治療や生活支援に役立つ情報を共有するための情報連携ツールの活用を推進を図ります。

# 社会全体で子育てを応援する青森県

## 現状と課題



**妊娠・出産・子育て支援**  
 合計特殊出生率は、近年1.40台を維持しているが、出生数が減少傾向にある。**出生数減少に歯止めをかけるため、更なる対策の推進が必要**



**子育ての地としての「青森県」の実感**  
 県民に、子育ての最適の地としての青森県を実感してもらうため、**妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援の充実と、社会全体で子育てを応援する気運の醸成が必要**

## 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

### 令和2年度当初予算主要事業

- ⑤ **保育人材確保事業【新規】(8,707千円)**  
 県内の保育士不足の具体的な状況及び短時間勤務希望潜在保育士の採用促進策の検討、潜在保育士の働き起しを行うとともに、県内の保育所等で働く魅力を発信する。
- ⑦ **医療的ケア児総合支援事業【新規】(9,814千円)**  
 医療・保健・福祉・保育・教育等の各関係機関の連携による研修・実地指導等を実施できる体制整備に取り組みほか、保育所等での受入促進に向けた研修を実施する。

- ⑥ **地域とつながる子どもの居場所づくり促進事業【新規】(5,376千円)**  
 貧困などの様々な課題を抱える子どもや保護者への支援が届くようにするため、介護保険施設や保育所等の既存の社会資源を活用し、学習支援や食事提供を行う「子どもの居場所づくり」を行う。
- ⑪ **乳幼児はつらつ育成事業費補助(785,747千円)**  
 市町村が行う乳幼児医療費給付事業への補助
- ⑫ **里親養育包括支援事業(21,885千円)**  
 包括的な里親支援の実施体制を構築

## 施策と具体的な取組

## 社会全体で、妊娠・出産・子育てを支え合うための「子育て環境づくり」「市町村支援」及び「気運醸成」

⑧ **「みんなで子ども・子育てを応援!」推進事業(13,031千円)**  
 子育てしやすい環境づくりのための働き方改革の推進や、将来を見据えた持続可能な包括的な地域の子ども・子育て支援体制の検討の支援、子育て応援に対する気運醸成

